食道・胃・十二指腸内視鏡検査をお受けになる患者さまへ

様

検査日時　　月　　日（　　）

来院時間　　時　　分

＊デジスマからの予約通知内容が検査説明時と異なる場合、上記を優先してください。
＊検査日の変更やキャンセルは、ネット上からではなくお電話でお願いいたします。
予約変更、キャンセルは早めにご連絡ください。

☆　注意事項

〈　　前日　　〉

・　夜９時までにお食事をお済ませ下さい。飲み物の制限はありません。

〈　　当日　　〉

・　朝食は抜いてください。検査が終わるまでは絶食となります。お水・お茶・スポーツドリンクは検査の前までお飲みいただけます。
・　ヨーグルトや牛乳などの乳製品、果肉の入ったジュース、炭酸飲料、アルコール飲料、コーヒーなどの色の濃いものは飲まないようにしてください。
・　いつも飲んでいるお薬は当日朝６時までに内服してください。
※血糖値を下げるお薬の内服やインシュリンの注射はしないでください。低血糖になる恐れがあります。
・　当日の喫煙、飲酒は控えてください。
・　検査は私服で行いますので、ゆとりのある服装でお越しください。また、汚れてしまう可能性がありますので薄い色のお洋服は避けて下さい。
・　風邪症状がある場合は検査延期してください。
・　院内では不織布マスクの着用にご協力ください。

☆　検査の流れ

①　胃の中を見やすくするお薬(消泡剤)を飲みます。

②　経口内視鏡の場合はのどに麻酔スプレーをかけます。経鼻内視鏡の場合は、お鼻から麻酔薬及びお鼻の通りをよくするお薬をいれていきます。

③　内視鏡を口または鼻から挿入し、観察していきます。必要に応じて検体を採取しますが、痛みはありません。

④　検査終了後、のどの麻酔が切れた約 1 時間後から飲水やお食事が可能です。

☆　経鼻内視鏡の注意点

・　鼻腔が狭いなどの理由で、お鼻からカメラを挿入できないことがあります。その場合、お口から挿入する方法へ切り替えますのでご了承ください。

・　鼻血が出ることがありますので、止血剤を含ませた綿の鼻栓をお渡ししています。また、お鼻に痛みが生じることがあります。

☆　静脈麻酔を希望する場合

・　ご希望の方には軽い静脈麻酔を使用して検査を行います。

・　ウトウトした状態で検査を行いますので、苦痛を感じることはほとんどありませんが、麻酔から覚めるのに 30 分～1 時間くらいかかります。

・　麻酔を希望される方は、検査当日は車・バイク・自転車の使用ができません。
(道路交通法違反となり、飲酒運転と同等の扱いとなります)
守れない場合は、危険を伴うため、麻酔の使用をお断りします。

☆　カメラに関するお問い合わせは下記の番号で受け付けております

電話番号：0422-24-9915

＊＊＊ 検査料金の目安 ＊＊＊

♦　３割負担の方：６千円～１万２千円

♦　２割負担の方：４千円～８千円

♦　１割負担の方：２千円～４千円

♦　三鷹市胃内視鏡検診の方：2 千～7 千円

病理検査や止血剤使用の有無によって幅があります。電子マネーもご利用いただけます。

上部内視鏡検査説明書・同意書

検査目的

食道、胃、十二指腸の一部観察及び病気の診断を行い、適切な治療方針を立てることが目的です。口または鼻から内視鏡を挿入します。
必要に応じて粘膜組織の採取や色素撒布を行います。

偶発症

偶発症とは、前処置や検査によって生じる病状です。
前処置、検査時使用薬剤による偶発症には、血圧低下、皮疹、呼吸抑制、咽頭麻酔薬のアレルギー反応、強い嘔吐反射による裂創などがあります。
内視鏡による偶発症には、消化管粘膜の出血・穿孔（穴があくこと）、咽頭の損傷、誤嚥性肺炎、徐脈、嘔気、嘔吐、歯牙損傷、顎関節症、咽頭痛などがあります。経鼻内視鏡検査においては麻酔薬のアレルギー反応、血管収縮剤による過敏症状、鼻出血、鼻痛などが生じることがあります。また、その他予測できない偶発症が生じることがあります。

日本消化器内視鏡学会が報告した「消化器内視鏡関連の偶発症に関する第 7 回全国調査報告（2024）」によると経口上部内視鏡の偶発症発生率は 0.044%、経鼻の上部内視鏡の偶発症発生率は 0.291%となります。

偶発症が起こらないように細心の注意を払って検査を行います。
万が一偶発症が疑われた場合には、直ちに検査を中止し、救急処置及び他医療機関へ搬送対応となる場合があります。

私は食道・胃・十二指腸内視鏡検査にあたり、説明を受けその内容及び必要性と危険性について理解しましたので、その実施に同意します。

（署名年月日）　　年　　月　　日

（氏名）

静脈麻酔（鎮静剤）の説明書・同意書

目的

当院では、処置に伴う苦痛や不安を少なくするために、ご希望の方に静脈麻酔（鎮静剤）の注射を行っています。
静脈麻酔（鎮静剤）の効果は個人差が大きく、ボーとする程度の方もいれば眠ってしまう方もいます。

偶発症

ふらつき　検査終了後は眠気が残りふらつくことがあります。転倒の恐れがありますので、30 分から 1 時間程度お休み頂いた後に結果説明となります。

呼吸抑制　麻酔によって呼吸が弱くなることがあります。
血中酸素濃度を測定しながら十分注意して検査を行います。

血圧低下、ショック、低血糖、迷走神経反射、低酸素症、健忘、不整脈、アレルギーなど。
まれに血圧低下やショック状態、意識レベルの低下（0.1%未満）をもたらされることがあります。
＊必要時は酸素療法、点滴、検査等を追加させて頂く場合がございます。

日本消化器内視鏡学会が報告した「消化器内視鏡関連の偶発症に関する第 7 回全国調査報告（2024）」によると鎮静剤での偶発症発生率は 0.048%となります。

静脈麻酔を使用した場合、当日中の自転車・バイク・車などの運転は禁止されています。

運転の予定がある方、自転車でご来院の方は静脈麻酔が使用できません。

静脈麻酔の使用を　　希望する・希望しない

（署名年月日）　　年　　月　　日

（氏名）